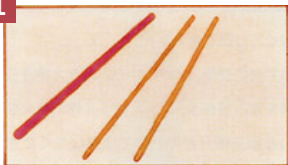


# ガラスピンのつくりかた

1



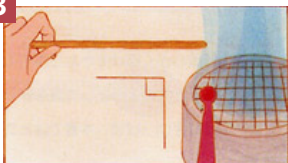
はじめにひご棒（細く引いたガラス棒）を用意します。

2



炎の端でひご棒の先端を温めます。

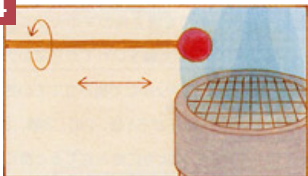
3



ガラスを温めつつ、真ちゅう線の先端を真っ赤になるまで熱します。

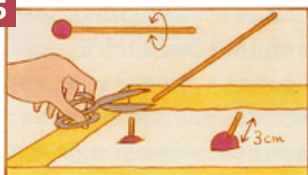
※真ちゅう線が冷えているとガラスはつきません。逆に熱しすぎると溶けてしまうので注意。

4



熱く赤くなった真ちゅう線の先端に溶けたガラスを巻きつけます。この時、真ちゅう線を回転させ、ガラスを軽く押し付けるようにつけます。

5



ガラスの成形が終わったら炎の外に出し、数秒待って徐冷剤の中に差し込み、3cm程の長さを残してニッパー等で切ります。

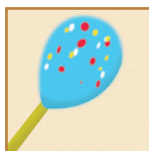


コテやピンセットを使って色々なガラスピンを作ってみましょう。

真ちゅう線

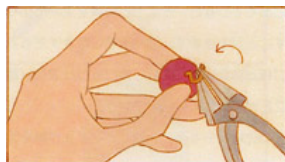


真ちゅう線はφ0.5mmとφ0.7mmの2種類の太さがあります。φ0.7mmは溶かしつけたガラスが安定して作業がしやすく、φ0.5mmはより小さいものを作る時などに使用すると後で真ちゅう線を曲げるときにガラスが割れにくくなります。



ガラスの表面が少し柔らかくなった状態でガラスフリットをつけると、簡単にかわいい水玉模様を作ることができます。

ガラスフリット



曲げる時はガラスとの接地面から1mmぐらい上をゆっくり曲げるとガラスが割れにくくなります。

カットした真ちゅう線は丸ヤットコやペンチなどで丸めます。そのままピアスのパーツにしたり、ネックレスのポイントに。



ピンバイスがあると作業がとてもしやすくなります。

まとめてブドウのペンダントトップやブローチに。



ミニピンバイス

その他、アイデア次第でいろんな小物に応用できます。より詳しい作り方は「やさしいとんぼ玉の作り方」、「とんぼ玉教室DVD」をご覧ください。